

あいさつはおもいやり（雪かきの朝に）

「朝のあいさつをしましょう。『おはようございます。』（おはようございまあす。）

今朝は、久しぶりの大雪、皆さんも学校まで来るのが普段とは違い大変だったと思います。先生方も電車が遅れたり、ようやく動き出しても混雑しすぎて、乗るのも、降りるのも大変。そんな思いをしながら皆さんのことを心配して、普段よりも早めに来て、皆さんがすべたり転んだりしないように学校のまわりの雪かきをしてくださいました。警備員さんや用務主事さんたちも早くから、長い時間雪かきをしてくださいました。

雪かきをしている頃はまだ、冷たい雨がたくさん振っていて、先生や主事さんたちはびしょぬれになりながら、雪かきをしてくださいました。寒いし、冷たいし、腰は痛くなるし……。

でも、そんな時に何人もの人たち、3年生の子もいました。5年生の子もいました。6年生も4年生もたくさんの子たちが、「先生ありがとう」「先生、寒いのに、ありがとうございます。」と立ちどまっては声をかけてくれます。中学生のお兄さんやお姉さんもありがとうございます、と声をかけていってくれます。

このひとつ、このあいさつひとつでこれまでの疲れも、寒さも、冷たさも吹っ飛んでしまいます。

それこそ「あいさつは、思いやり」。

『ありがとう』『ごめんなさい』『よろしく願いいたします』『だいじょうぶですか』

そんな気持ちを、相手の人に相手の人に、心をこめて伝える。それが「あいさつ」です。

この言葉一つで人は元気になり、がんばれるようになり、すくわれた気持ちにもなれるのです。

今日は始めから「あいさつは思いやり」という話をしようと思っていました。そこ得、皆さんの心のこもった『ありがとう』があったので、ぴったり重なってしまいました。

私が、朝乗ってくるバスに、いつも同じバス停から同じ時間に小学校2年生くらいの女の子が乗ってきます。いつもお母さんと一緒です。去年くらいまでは、お母さんも一緒にバスに乗ってきました。でも2年生くらいになった頃から、お母さんと来て、でもお母さんはバス停に残って、女の子だけが乗っていきます。

この時に、このお母さんはバスの斜め前に立って、両手をそろえて待っています。バスの扉が閉まり、バスが発車しそうになると運転手さんに向かって、お時儀をします。挨拶保気持ちを伝えるもの。このお母さんは運転手さんにどんな気持ちを伝えているのでしょうか。そう。『いつもありがとうございます。』『よろしく願いしま

す。』という気持ちなのでしょうね。

この挨拶をされている運転手さんは、若いお兄さんの運転手さんです。帽子を斜めにかぶって、運転中は「きっ」とした顔をしています。この挨拶に、はじめの頃は区部をかしげるくらいでしたが、いつの間にか、お辞儀をかえすようになりました。思いやりのキャッチボールです。『よろしくお願いします』⇒『はいはい、わかりました、お任せください。』

今朝の皆さんの思いやりの気持ちも、ちゃんと先生方や主事さん方に届きましたよ。

桃五小の皆さんが『自分のまわりの人たちに思いやりの気持ちをもって挨拶ができると、きっと素敵な毎日が過ごせます。』

もう1月もすぐ終わり、残り2ヶ月くらいで、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、5年生は6年生に、そして6年生は中学生です。

お互いに思いやりの気持ちをもって、今朝のようにみんなが元気になれるような毎日が過ごせるといいですね。

お話終わります。

